

令和 8 年 2 月 1 0 日
トップレベル事業所セミナー

トップレベル事業所認定制度について



東京都環境局
気候変動対策部 総量削減課

- 1 トップレベル事業所認定の概要
- 2 トップレベル事業所認定のメリット
- 3 トップレベル事業所認定の実績
- 4 トップレベル事業所認定申請スケジュール等



1 トップレベル事業所認定の概要

東京都キャップ&トレード制度において、CO²排出量削減義務を課されている大規模事業所※のうち知事が定めた“認定基準”に適合する事業所をトップレベル事業所として認定

地球温暖化対策の推進の程度に応じた3つの認定区分

認定区分	トップレベル事業所 Silver	トップレベル事業所 Gold	トップレベル事業所 Diamond
定義	地球温暖化対策の推進の程度が 優れた事業所	地球温暖化対策の推進の程度が 特に優れた事業所	地球温暖化対策の推進の程度が 極めて優れた事業所
認定事業所のイメージ	一定水準の省エネ対策・ 再エネ利用を実施	トップレベル事業所Silverよりも 更に省エネ対策や再エネ利用の 取組を実施	ゼロエミッション化に向けた省エネ・ 再エネに加え、更に進んだ 環境配慮等を推進
備考	(旧)準トップレベル事業所に相当	(旧)トップレベル事業所に相当	第四計画期間 新設区分

※「特定地球温暖化対策事業所」という

1 トップレベル事業所認定の概要

トップレベル事業所認定制度の考え方

◆これまでの考え方（第1計画期間～第3計画期間）

日本の優れた省エネルギー技術をトップレベルの認定要件に位置付け、対象事業所の到達すべき目標として提示し、トップレベル事業所への誘導を推進



◆第4計画期間からの考え方

2050年のゼロエミッション実現に向け、省エネに加え、再エネ利用を推進する事業所の目標となる取組水準等を提示し、高いレベルで省エネ対策・再エネ利用に取り組む事業所へ誘導



トップレベル事業所の目標像

事業所のゼロエミッションの実現に向け、省エネ・再エネ両面から自律的に取組を推進するとともに、地域や将来世代にも繋がる取組を積極的に推進する事業所

1 トップレベル事業所認定の概要

トップレベル事業所の認定基準

評価 区分	I 一般管理項目	II 建物及び設備性能に 関する事項	III 事業所及び設備の 運用に関する事項	IV 事業所の 再生可能エネルギーの 利用に関する事項	V 事業所のゼロエミッシ ョン化や環境配慮等の 取組に関する事項
配点	10	45	25	10	10

+

加点	25
----	----



総合得点・不合格要件の数に応じて、
認定区分を決定

総合得点	70点以上	80点以上	90点以上
不合格要件	I～III：4以内 IV・V：2以内	I～III：なし IV・V：2以内	なし
認定区分	トップレベル事業所 Silver	トップレベル事業所 Gold	トップレベル事業所 Diamond

1 トップレベル事業所認定の概要

◆ 認定時の特典

- ・ 『認定証』と『記念楯』を贈呈
- ・ トップレベル事業所認定ロゴマークをパンフレット、HP、広報誌、名刺等で使用可能※

※別途申請が必要



トップレベル事業所認定証及び記念楯



トップレベル事業所認定ロゴマーク

2 トップレベル事業所認定のメリット

◆ 東京都キャップ&トレード制度におけるメリット

※下記のいずれかを適用可能

① 義務以上の削減で発行できる「超過削減量」の発行上限を撤廃

➤ 通常事業所

削減義務率から基準排出量の65%に相当する量までの発行

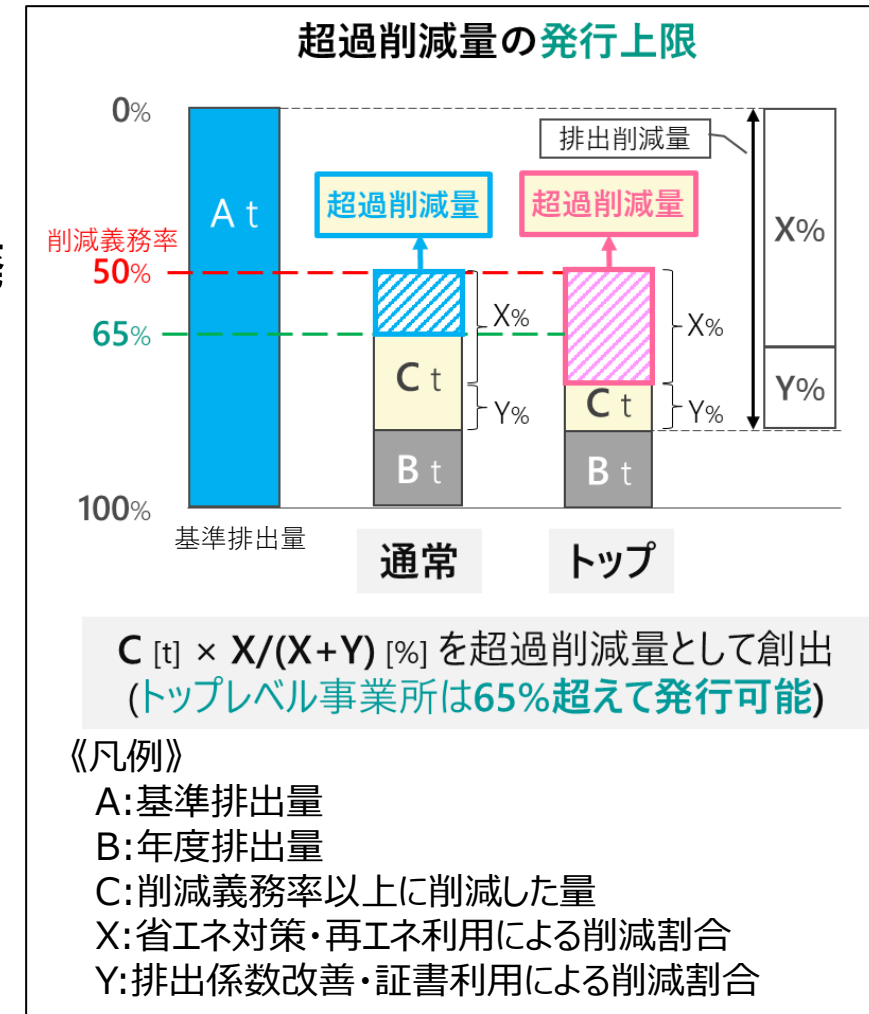
➤ トップレベル事業所

上限なく発行可能

② 削減義務率を低減（経過措置・一定の条件あり）

- ・ **トップレベル事業所Silver**：削減義務率を **4/5** に低減
- ・ **トップレベル事業所Gold**：削減義務率を **3/5** に低減

※「トップレベル事業所Diamond」は削減義務達成が認定要件であり、①のみ適用可



2 トップレベル事業所認定のメリット

◆ 他の環境不動産認証における利用

GRESBリアルエステイト評価

1. マネジメント
2. ポリシーと開示
3. リスクと機会
4. モニタリングと環境管理システム
5. パフォーマンス指標
6. **グリーンビル認証**
7. ステークホルダー
8. 新規開発と大規模改修（任意）

トップレベル事業所も
評価対象

グリーンビル認証の分野において、
トップレベル事業所認定が
「有効な認証」として認められている。

DBJ Green Building 認証

1. **建物の環境性能**
2. テナント利用者の快適性
3. 危機に対する対応力
4. 多様性・周辺環境への配慮
5. ステークホルダーとの協働

特筆する取組を評価する
イノベーション設問において、
トップレベル事業所も評価
対象

建物の環境性能の「環境ラベリングの取得」において、
トップレベル事業所認定が
「特筆する取組」として認められている。

2 トップレベル事業所認定のメリット

◆ その他の認定効果①

➤ 東京都ウェブサイト等への掲載

認定事業所の事業所名や取組等を掲載し、脱炭素化の取組が優れた事業所として都のウェブサイト、SNS等により広く社会へ発信



① 制度紹介ウェブサイト

➤ 東京都デジタルツイン実現プロジェクトにおける事業所の紹介

「東京都デジタルツイン実現プロジェクト」において、地図上でトップレベル事業所の情報を確認できるようオープンデータ化



② デジタルツイン実現プロジェクト

2 トップレベル事業所認定のメリット

◆ その他の認定効果②

➤ 東京都キャップ&トレード制度ダッシュボード(Power BI)における認定表示

「東京都キャップ&トレード制度ダッシュボード」において、事業所のトップレベル認定状況を表示

トップレベル事業所認定状況

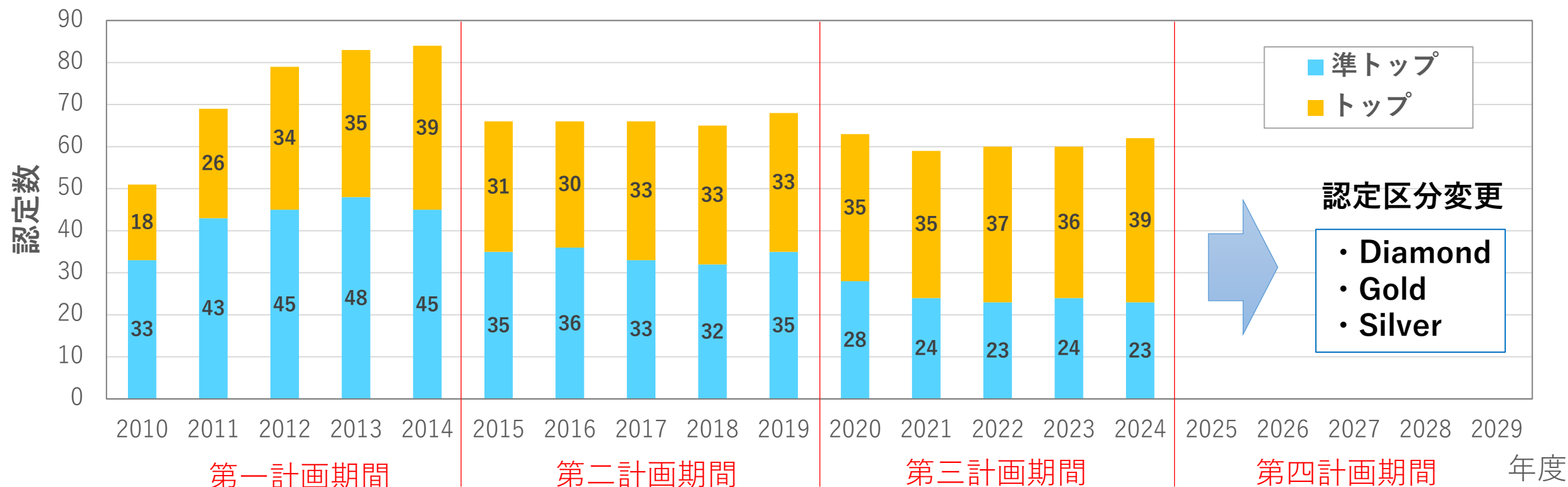


品川シーズンテラス様



第一三株式会社
品川研究開発センター様

3 トップレベル事業所認定の実績



- 令和6年度末の認定事業所数：**62** / 約1200（C&T制度対象事業所数）
- 対象事業所の **約5%**
- 令和6年度には、**10** 事業所を認定

4 トップレベル事業所認定申請スケジュール等

令和8年度 認定申請

申請期限：令和8年9月末

※排出係数・再エネ率の評価に電力メニュー別の値を利用する場合は、当該項目に関する書類のみ**12月末**。
詳細は認定ガイドラインをご確認ください。

お問い合わせ方法

御質問等をお寄せいただく際には、「共通の書式（質問シート）」を御活用いただき、「メールでの提出」に御協力をお願い申し上げます。

「共通の書式（質問シート）」は、こちらのURLからダウンロードしてください。

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/faq/question_download/



送付先 Eメール：toplevel@ml.metro.tokyo.jp

トップレベル事業所認定制度に関するホームページ紹介

東京都ホームページにて説明会資料及び認定基準、ガイドライン等を公開しております。

公開内容	URL	QRコード
トップレベル事業所認定に係る 認定基準・各種ガイドライン・評価ツール、記入例等	 https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/toplevel/evaluation_tools	
トップレベル事業所認定制度ウェブサイト	 https://www.toplevel.metro.tokyo.lg.jp/	
2025年度トップレベル事業所等認定に関する説明会	 https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/meeting/r7/toplevel	
東京都キャップ&トレード制度・ダッシュボード	 https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/data/dashboard	